



他とよりよくかかわり合いながら、『自分づくり』を進める、心豊かな子ども

学校だより 第3号  
令和3年6月11日  
水戸市立河和田小学校  
児童数 393名

# 大銀杏

## 行事を通して！

5月20日（木）、爽やかな風を感じながら、5年生が田植え体験を行いました。子供たちは、水の張られた田んぼへ裸足で入り、JAの方に指導を受けながら稲苗を丁寧に植えていました。昨年度臨時休業のため中止となった田植えを今年度は実施することができ、子供たちも満足した表情を見せていました。例年なら何気ない学年行事でも、コロナ禍で行事等を制限される中実施できたこの経験は、子供たちの心の成長につながる貴重なものであると実感しています。実物に触れ、自ら体験することとは教育に欠かせないものとして、これからも大切にしていきたいと考えています。

保護者の皆様には、運動会の延期を始め、多くの行事が予定どおりに進まない現状にご迷惑をかけております。今後も状況を適切に判断しながら、できる限りの教育活動を展開していきたいと考えております。引き続き、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

（校長 瀧 健一）



汚れも気にせず夢中で田植えをしました！

## ～他の行事の様子も少しご紹介します～

さつまいも苗植え



JAの方々に丁寧に教えていただきました。

フレンドタイム（縦割り班活動）での1年生を迎える会



1年生から6年生までの縦割り班で1年生を迎える会を実施しました。1年生にプレゼントを渡したり自己紹介をしたりしました。これから仲良くしていきましょう。



## 「いろいろな学び」

5月17日は1・2年生が、6月9日には3・4年生が交通安全教室を行いました。市交通安全指導員の方々より、登下校時に気を付けてほしいことや、自転車の安全な乗り方などを指導していただきました。子供たちは指導員の方々のお話をしっかり聞いていました。

また、6月5日には、6年生で水戸市法人会青年部の方々による租税教室を実施しました。税の大切さについて、社会科の学習と結び付けながら有意義な学習ができました。税金が自分たちの生活には欠かせないものであることを改めて知ることができました。

子供たちにとって、様々な学びの機会を得ることは大きな成長につながるものです。コロナ禍の状況の中、できる範囲ではなりましたが、地域の方々などのご協力を得て、今後も子供たちが多くの学びを得ることができるよう努めてまいります。



交通安全教室（4年）



租税教室（6年）

## 「自慢の大銀杏」

先日、普段より河和田小のホームページをご覧いただいている京都在住の方から学校にメールをいただきました。開校以来100年以上子供たちを見守っている本校の大銀杏に心を動かされ、メールをくださったとのこと。「学年毎の学習から楽しくのびのびと学んでいる様子が、ひしひしと伝わってきます。」といったお言葉もいただきました。

この大銀杏は、自然に生えたものではなく、苗木を植樹したとの話が残されています。また、本校児童は大銀杏を題材とした写生を伝統的に行っています。

本校のシンボルツリーであるこの大銀杏。これからも皆で大事にしていきたいと思えます。



休み時間や体育の時間など、日差しを避け、木陰でちょっとひと休みに最適です